
高齢者市内バス無償化実証実験事業 検証結果（案）【概要】

I. 事業概要

事業概要

高齢者が市内バス路線を利用する際の運賃を無償化することで、社会活動の参画促進及び公共交通の利用促進を図るための実証実験を行う。



<R7乗車証>

事業目的

目的①

高齢者の外出機会増加

目的②

公共交通の利用促進

目的③

交通事業者の経営改善
(公共交通維持)

事業内容

区分	内容(令和7年度)
実証実験期間	令和5年度～令和7年度
運行事業者	沿岸バス株式会社 道北バス株式会社
対象者	70歳以上の留萌市民
助成額	運賃の全額無償化(市内)
利用方法	乗車証の提示
利用回数	無制限
利用期間	6月～3月末

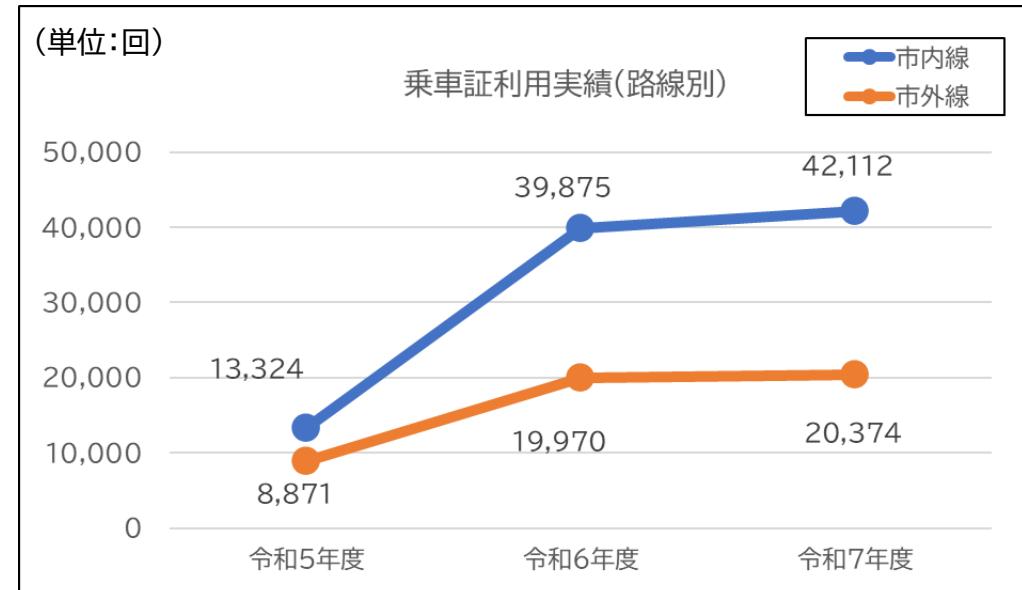
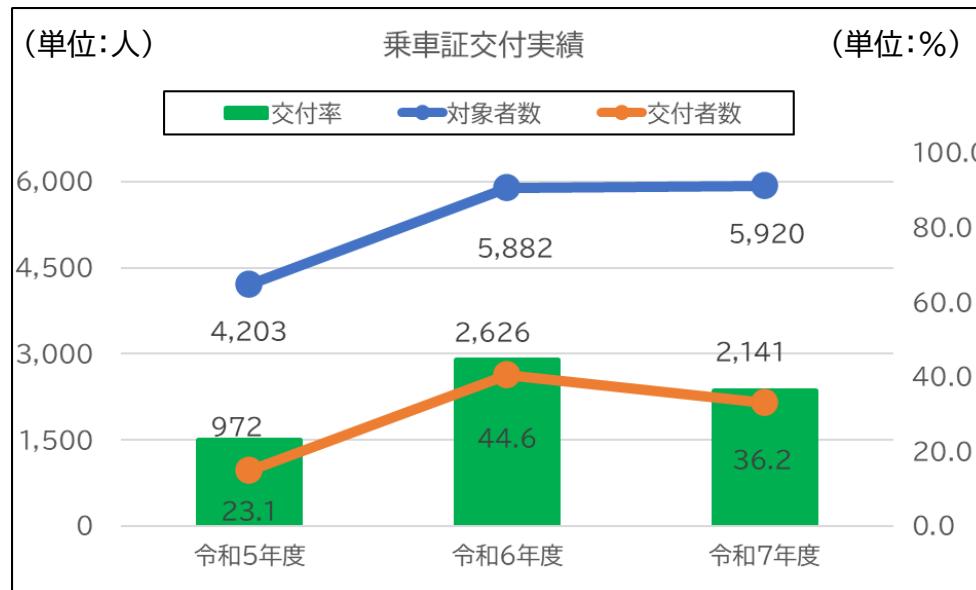
2. 各種実績

乗車証交付実績

区分	R5	R6	R7 (見込み)
対象者数	4,203人	5,882人	5,920人
交付者数	972人	2,626人	2141人
交付率	23.1%	44.6%	36.2%

乗車証利用実績

区分	R5	R6	R7 (見込み)
市内線	13,324回	39,875回	42,112回
市外線	8,871回	19,970回	20,374回
計	22,195回	59,845回	62,486回



3. 利用者アンケート結果

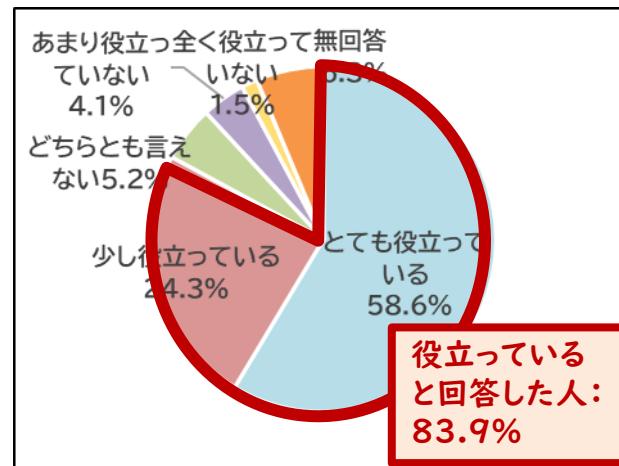
【対象者】 乗車証交付者 2,026人のうち、400人を無作為抽出

【実施期間】 令和7年9月25日～令和7年10月24日

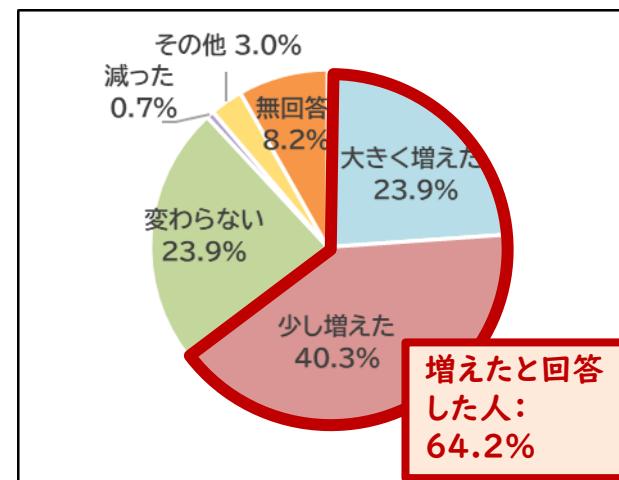
【回収結果】 回収数 268件 回収率:67.2%

■ 主な回答

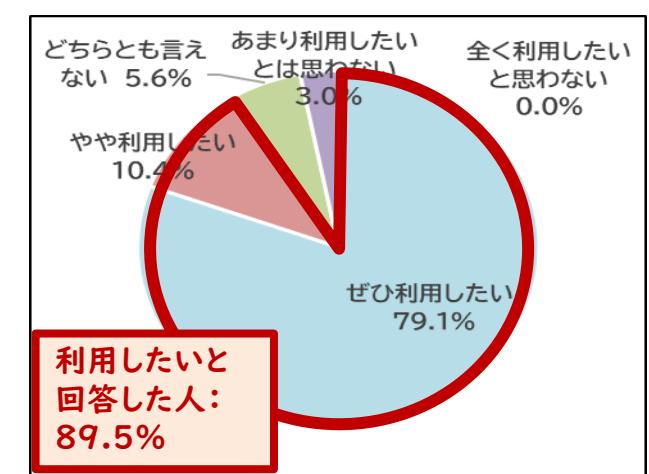
Q バスの無償化は健康増進(外出促進)に役立っていると感じますか。



Q バスの無償化前と比べて、バスの利用回数は増えましたか。



Q 来年度以降も、バスの無償化があれば利用したいと思いますか。



■ 主な自由記載

- ・4月から利用できるよう希望します。
- ・バス無償化はとてもありがたいですが、毎年手続きしなくても良いと思います。

4. 成果・課題

目的①

高齢者の外出機会増加



成果①

乗車証の1人あたり平均利用回数の増加及びアンケート結果から、高齢者の外出機会増加に資する効果が確認された。

目的②

公共交通の利用促進



成果②

路線別輸送人員実績の増加及びアンケート結果から、公共交通の利用促進に寄与した。

目的③

交通事業者の経営改善
(公共交通維持)



成果③

無償化による運賃補填及び利用者増、R7.4の増便から、交通事業者の経営改善および公共交通の維持に寄与した。

課題

- ①事業期間の延長及び申請手続きの簡素化
- ②事務負担と運用の効率化
- ③財政負担の最適化

5. 対応方針・総括

課題①

事業期間の延長及び申請手続の簡素化



対応方針①

- ・ 4月開始
- ・ 乗車証の継続利用

課題②

事務負担と運用の効率化



対応方針②

- ・ 乗車証のIC化の検討

課題③

財政負担の最適化



対応方針③

- ・ 持続可能な制度設計の検討
- ・ 外部財源活用の調査・検討

総括

- ・ 令和8年度から本制度化。
(4月事業開始、乗車証の継続利用による申請手続きの負担軽減)
- ・ 乗車証のIC化、財源確保に向けた継続調査・検討。